



マジンガーZ

1972年テレビアニメ作品(全92話)

人型ロボットに主人公が乗って操縦する、という今もなお受け継がれるスタイルを初めて採用した作品が「マジンガーZ」だ。原作は永井豪。作品は大ヒットを記録し92話まで放送、その後グレートマジンガーに主役を引き継ぐ。映画「マジンガーZ対暗黒將軍」では、テレビに先駆けてグレートマジンガーとの主役交代劇を描き、大きな話題となった。後のスーパーロボット作品に多大なる影響を与えた巨大ロボットアニメの金字塔だ。



マジンガーZの他にアフロダイAやボスロボットなどが参戦。マジンガーZ自体に飛行能力はなかったが、後にジェットスランダーを装備し飛行可能となった。

HJとマジンガー

伝説的ロボットアニメではあるが、本誌での例登場および表紙掲載は意外に新しい。表紙は連載「横ロボ」掲載の86年5月号、速水仁司氏「Super 3D SHOW」ではなんと連載40回目にして初の登場となった。



86年5月号

▲テレビ放送からおよそ14年。ついに単独表紙を飾ったのは1996年5月号。「横ロボ」第16回にてMAX級で製作している



01年8月号

▲「横ロボ」メカニックコレクションのキットレビュー作例として掲載。製作は中山幸也氏が担当した



04年9月号

▲「Super 3D SHOW」初登場は第40回(96年1月号)、二度目の登場は第67回となった。グレートとダブルマジンガーで掲載された

メカニックコレクションを使って ダブルマジンガーをディオラマ仕立てに

鉄人28号が日本最初の巨大ロボットアニメなら、人が乗り込み操縦する巨大ロボットの祖がマジンガーZだ。「デビルマン」のアニメ化を成功させた漫画界の巨匠・永井豪氏が次に手掛けた本作は、平均視聴率が20%を超え、また関連商品の超合金やジャンボマジンダーなどの大ヒットにより全92話まで放送される。その後続編の「グレートマジンガー」をはじめ、数々の巨大ロボットアニメを世に送り出すきっかけとなった記念すべき作品だ。そんな本作をバンダイ メカニックコレクションでディオラマ化。ベースとは磁石で接続し取り外し可能とすることで、それぞれ単品作例としても楽しめるものとした。

BANDAI SPIRITS ノンスケール プラスチックキット

ダブルマジンガー

製作・文 只野☆慶